

## 令和4年度 子ども大学はんのう

## 1 実施体制

子ども大学はんのう	学長	城井 光広（駿河台大学 副学長）
	副学長	中村 力（飯能市教育委員会 教育長）
子ども大学はんのう実行委員会	実行委員長	木崎 幸長（飯能商工会議所）
	実行委員 （関係団体）	飯能市教育委員会、駿河台大学、飯能商工会議所、飯能信用金庫

## 2 事業内容

開催期間	令和4年7月9日～令和4年10月22日			
参加者数等	定員	40名	応募者数	46名
	参加者数	4年19名	修了者数	4年19名
		5年10名		5年10名
		6年15名		6年15名

## 3 実施内容

1日目	開催日時	7月9日（土） 10:00～12:45（入学式含む）	写真 
	会場	駿河台大学	
	講義名	飯能の森、フィンランドの森	
ふるさと学・ 生き方学	講師	駿河台大学 スポーツ科学部 教授 平井 純子先生	気候ゲーム中
	開催日時	7月30日（土）10:00～12:00	写真 
	会場	駿河台大学	
講義名	油絵を描いてみよう！ ～飯能で活躍する画家から学ぶ 画教室～		
生き方学・ ふるさと学	講師	飯能絵画連盟 会員	描いた作品を見せ合う
	開催日時	9月10日（土）10:00～12:00	写真 
	会場	株式会社 OH	
講義名	OH!!!で体験～発酵食品ってなに？ ～		
はてな学	講師	株式会社 OH 職員	キムチづくり体験



保護者の声(感想)

- ・小5になり、心の変化や成長に伴い、知らない子供たちに会うのは「恥ずかしい」からスタートした。でも、毎回終了後には「ママ、ありがとう」が聞けるようになり、充実した内容だったのがうかがえた。
- ・新しい事をするときは不安からか前日までソワソワしているような子が、子ども大学で参加した講義で色々な体験をして新しいことをするときにソワソワしなくなった。自身に繋がっているのかなと思う。
- ・人見知りで習い事もしていなく、最初は不安だったので友達と申し込んだ。始まってみると親が心配する程でもなく馴染んでいた。申し込んでよかった。
- ・子供は「大学」と聞いて勉強しないといけないと思いき入学を嫌がったが無理矢理申し込んだ。始まると楽しいみたいで行く時間になると進んで準備するようになった。
- ・申込当初は全ての講義に興味があったわけではなかったので楽しめるか心配であったが、大学の雰囲気がとても良かったようですべてに積極的に参加できた。
- ・自分の学校内だけではない、地域の広がりからもっと広範囲の世界や考え方に興味を示すようになった。
- ・講義を通して興味の幅が広がり、自分でも積極的に興味のあるものについて調べるようになった。など